

内容項目名	親切, 思いやり (内容項目 B- (7) )		
資料名	「車いすの少年」 (出典「学校・学級講話資料12ヶ月」 文教書院)		
学校名	柏市立高柳小学校	指導者名	藤澤 朋実

## 1 学習指導案

### 小学校6年2組 道徳学習指導案

平成29年10月27日 (金) 5校時

#### (1) 主題名

真の思いやり

#### (2) ねらい

真の思いやりとはどういうことなのか考え、相手の立場や気持ちを本当に考えて行動しようとする態度を育てる。

#### (3) 主題設定の理由

本主題は、内容項目B「主として人との関わりに関すること」の(7)思いやり・感謝に価値をおいており、「誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にすること」をねらいとしている。


児童は普段の学校生活で日々お互いに協力し、助け合う必要のある場面を体験している。児童は、学校生活の中で、思いやりのある行動をすることはできているように思われる。また、「思いやりは大切だ」ということを観念的には理解している。ただ、現状では、その思いやりの対象が自分の仲の良い友達に限られているという印象がある。誰に対しても思いやりをもつことが大切であることや、その思いやりが学校内だけでなく、今後地域社会へ出たときにも必要であることを考えさせたい。加えて、今回の授業では、単に手助けをすることだけが、本当の思いやりなのかを考える場面がある。「自分が良かれと思うこと」「相手が真に望むこと」にはずれがある場合もある。相手のことを思いやるということを深く考えるきっかけとしたい。同じ人間として、どのように周りの人と関わっていくのが望ましいのか、話し合いを通して考え、相手の立場に立った思いやりの心を育てていきたい。

#### (4) 展開

過程	学習活動と主な発問	予想される反応	教師の支援
導入 (3)	1 自分が助けた経験・助けられた経験について話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お年寄りに席を譲ったことがある。</li> <li>・低学年の時、自分が困っていたのを見た高学年が助けてくれてうれしかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助けた経験・助けられた経験について事前にアンケートをとり、児童に発言させる。</li> </ul>

写真を明るくしました



<p>展開 (32)</p>	<p>2 「車いすの少年」の話を聞く。</p> <p>3 登場人物と背景を確認する。</p>  <p>◎ もし自分が、外国人に「やめなさい」と言われたらどうするだろうか。</p> <p>4 「助ける」「助けない」「迷う」それぞれの立場に分かれて話し合う。</p> <p>5 物語の続きを聞く。 (赤信号になり～散っていったのです。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車いすの少年，わたし周りの外国人が出てくる。</li> <li>・少年の車いすの車輪が道路の側溝に落ちてしまった。</li> <li>・周りにいた外国人に「ノー（助けるな）」と言われた。</li> <li>・やめなさいと言われたとおりに助けない。</li> <li>・やめなさいと言われても助ける。</li> <li>・迷う。</li> <li>・なぜノーと言われたのかわからない。</li> </ul> <p><b>【助ける】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・困っている人には手を貸すのが筋だ。</li> <li>・そのままその場にいたら危ない。</li> </ul> <p><b>【助けない】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・やめなさいと言うには何か理由があるのかもしれない。</li> <li>・自分で起きあがろうとすることが必要なのではないか。</li> <li>・少年は助けてとは言っていない。</li> </ul> <p><b>【迷う】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・助けないと危ないし，でも助けるなど言われるし，迷う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み聞かせをする。（始め～励まし続けたのです。）</li> <li>・登場人物の確認をする。</li> <li>・車いすを使って状況の確認をする。</li> <li>・移動した後，それぞれの立場の確認をする。</li> <li>・児童の意見を板書していく。（ホワイトボード）</li> <li>・経験を交えて話させるようにする。</li> <li>・抽象的な表現に関しては具体的にどういうことなのかを尋ねる。</li> <li>・討論の最後に，立場を変える人はいないか確認する。</li> </ul>
--------------------	---	--	--

終末 (10)	○少年は何に対してサンキューと言ったのだろうか。 ・ワークシートを書く。 ・発表する。	・見守ってくれたこと。 ・応援してくれたこと。 ・自分の気持ちに寄り添ってくれたこと。	・自分にとっての思いやりとはどういうものだったか考えさせる。 ・書き終わった児童はワークシートを交換して意見交換をさせる。
------------	---	---	--

### (5) 他の教育活動との関連

1年生との交流給食で、1年生の気持ちに寄り添った手助けができる心を育てる。

各教科の授業の問題解決の場面で、自分の班が全員理解するための手立てを考えられる心を育てる。

## 2 事後検討会

### (1) 授業記録

T 今まで助けてもらった経験や助けた経験はありますか。

S 事故に遭ったとき救急車を呼んでもらいました。

S インフルエンザで病院に行ったとき、お姉ちゃんに助けてもらいました。

S お母さんにいつも助けてもらっています。

T 今日は、助ける・助けられるについてのお話です。

(教師による読み聞かせ)

T 登場人物や状況の確認をします。登場人物は？

S 私 少年 外国人。

T 少年は今どういう状況ですか。

S 車いすの車輪が落ちてしまった。

T それを見たわたしはどうしましたか。

S 助けようとした。

T その私を外国人が……。

S 止めようとした。

T 今回のこの状況を劇にしてイメージをつかみましょう。

(ロールプレイング)

T もしもあなたが外国人にノーと言われたらどうしますか。

どのような考え方があるでしょうか。

S そのまま助ける・とめる・見守る。

T 自分だったらどうするか考えて移動しましょう。

(助ける 助けない 迷う 3つのグループに分かれる。)

T ではどうしてその立場にしたのか発表してもらいます。

(以後、発表者が別の立場の発表者を指名していく。)

S そのままにしていたら車いすが倒れてしまうと思うので、わたしは助けます。

S 少年が自分で立つためにノーと言ったのではないかと思います。

S 外国人が止めたのには理由があると思います。その理由を聞いてみた方がいいと思います。

S また同じようになってしまうかもしれないから、自分でできるようにするために見守っていると思います。助けないわけではないと思います。

S でもそれにしては外国人の言い方が強すぎると思います。困っているなら助けた方がいいです。

S 見守ると言っても何かあってからでは遅いと思います。



- S 外国人の言い方がきついのは少年にチャンスあげて！という意味があるからだと思います。
- S チャンスをあげるという意味なら納得できます。
- S でも少年にチャンスあげるならばもっと安全な場所の方がいいと思います。
- S 少年が今落ちてしまった場所の話をしているから、安全な場所とかは関係ないと思います。まわりに人がいなくてもいいように今外国人は見守っているのだと思います。
- S もし、少年が助かっても私が危険にさらされて死んでしまったら、少年は怖くてトラウマになってしまうと思います。
- S 次に同じことがあっても、助けてくれる人がいるかはわからないから、今助ける人がいる以上、ぼくは、助けます。
- S 危険になったらもちろん助けるけれど、今はチャンスあげていると思います。
- S でもやっぱり目の前で人が困っていたら、見捨てるわけにはいかないです。
- S 最初は見守るけど、本当にだめそうだったら助けます。一人でできると思うから、見守っているのです。
- S さっき実際にやっているのを見て、少年は「抜け出せない」と言っていた。無理なのだから助けてあげた方がいい。
- S それに対してですが、人間には馬鹿力があるからなんとかなるのではないかと思います。
- T さっきの劇の話がでしたが、少年を囲んでいる外国人の立ち位置がどうだったか覚えている人はいますか。
- S 少年を囲んでいた。
- T ではそれについて何か考えがある人はいますか。
- S 私が助けなくても、外国人が周りを囲んでいたので大丈夫だと思います。
- S でもその外国人がみんないい人とは限らないと思います。
- S でもそもそも出られないとわかっていたら外国人はノーと言わないと思います。
- T それでは話の続きを読みたいと思います。

(教師による読み聞かせ)

- T サンキューってどういう意味の言葉ですか。
- S ありがとう。
- T では少年は何に対してありがとうと言ったのでしょうか。ここにシートに書いてみましょう。書き終わったら移動して友達と交換しましょう。
- (ワークシート記入, 交換)

- T では最後に発表してもらいます。
- S 多くの人々に応援してもらってぬけだせたことを言ったと思います。助けるよりも見守ることが少年には自分のためになったと思いました。
- T これで今日の道徳を終わります。

## (2) 授業の感想

(児童の感想)

- ・助けることももちろんいいことだけど、見守るということも大切だということに気づきました。
- ・少年はまた同じことがあったら、「今日のことを思い出してがんばるね!」と言っているように感じました。
- ・最後まで見守ってくれたり、応援してくれたりしたことに対して、「ありがとう」と言ったのだと思いました。
- ・今日は、いつもよりも深く考えました。見守ることも助けることも大切だと感じました。

PDF データに変更しました



- ・最初、外国人の対応は冷たいと感じましたが、話を聞いてみると適切な判断だったと思います。
- ・少年は自分でできたことに達成感を感じることができたと思いました。
- ・少年にとっては、見守ってくれたことが、とてもうれしかったり、自分のために思って行動したりしてくれたことで感謝の気持ちでいっぱいだったと思います。

(保護者の感想)

- ・困っている人がいたら助けよう、と親として日頃よく話していましたが、それが「小さな親切、大きなお世話」になっていないかを考えさせられる、深いテーマだと感じました。小学生でもしっかりと自分の意見を出し、人の意見も聞いて、さらに意見を言うことができていたので感心しました。
- ・コの字型の隊形や移動は、立場を明確にすることができ、子どもたち同士の顔が見えるので議論が活発になると感じました。
- ・子どもたちの力で話し合いが進んでいたところが印象的でした。
- ・「助けたいのではなく、見守りたい」と子どもたちから出たことに驚きました。自分たちのこととしてとらえられていると感じました。
- ・相手の意見を聞いて、自分の考えをわかりやすい言葉を選びながら話し合えており、子どもたちの様々な思いやりの心に触れることができました。

3 本事例の活用に関する留意点 1字下げ

(1) 資料の動作化

実際の車いすや角材で作った溝を用意して資料を動作化した。外国人の立ち位置は5～6人で少年を囲むように配置した。こうすることで外国人がただ少年に冷たくしたわけではないということがわかる。またこのとき、登場人物の役をしている児童にその気持ちを話させてもよいのではないかとリフレクションの中の意見にあった。

ただ見守るだけが真の思いやりではなく、相手の気持ちや立場を考えて行動することが真の思いやりであることを気づかせるための発問を教師が用意しておく必要がある。

(2) 話し合いの方法について 1字下げ

「考え、議論する道徳」の実現へ向けて、児童同士の話し合いに重点を置き、椅子のみを使つてコの字型の隊形を採用している。話し合ううちに自分の考えが変わったら移動してもよいことになっている。反対の立場同士での話し合いだけでなく、移動した際の根拠を尋ねたり、迷っている児童の考えを聞いたりして活発な話し合い活動になるよう工夫した。

また、コの字型への移動をすることで必ず全員が自分の意見をもつようになり、教師側からも誰がどの立場なのかのわかりやすくなる。話し合いの時には、友達の意見を聞いて、質問したり、その意見に対して自分の意見を述べたりできるよう教師は積極的に支援した。

